

Sports Fukushima

スポーツふくしま

41
2019.3

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを!
Let's play sports together!

巻頭言

本県の選手たちに期待すること

昨年の暮れ以来、本県の若者たちの活躍が目覚ましい。全国高校駅伝競走での学法石川高校チームの第3位入賞を皮切りに、新年早々の各種駅伝等での活躍、続く全国高校サッカー選手権での尚志高校が第3位、障がい者スポーツで鈴木猛史選手がワールドカップスキー・ダウンヒル競技で第3位入賞の朗報も飛び込んできた。極めつけは天皇盃第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で念願の日本一に輝いた福島県チームの活躍である。選手たちは連日厳しい鍛錬に明け暮れ、限界値を高いところに据えて全国に果敢に挑戦してきたが、その努力が実り結果に結びついていることを心から祝福したい。そしていつも温かい声援を送っていただいている県民の皆さんにも深く感謝を申し上げたい。

私は駅伝日本一になった要因は二つあると思っている。第一の要因は「ふくしま駅伝」の存在である。

ふくしま国体の開催機運が高まらず、国体での天皇杯順位も40位台と低迷していた昭和の終わり頃、福島県の競技力向上は喫緊の課題であった。その強化策として打ち出したのが「ふくしま駅伝」の創設であった。「県民の体力向上と中・長距離選手の育成強化を図るとともに、各市町村のふるさとおこしに寄与する」というコンセプトのもとに平成元年「第1回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」が産声を上げたのである。以降、各市町村の担当者たちが「おらがふるさと」の潜在能力の高い選手を見つけ出し磨きをかけてくれたが、当時伝説的指導者として名を馳せていた下重庄三氏（前田村高校監督）が埼玉から福島に戻り、指導陣の中核的存在となって各市町村の精鋭を集めて鍛えてくれたお陰で、全国各種駅伝競走大会で入賞を重ねるチームに成長したが、頂上を目指し足踏みをしていた。それが遂に平成の締めくくりに大輪の花を咲かせてくれたことは、大会創設に係わった者として非常に感慨深く、喜びこれに優るものはない。

第二の要因は故円谷幸吉選手の存在が挙げられる。長距離種目の世界記録や日本記録等、数々の記録更新を果たし、1964年の東京五輪で3位に入賞した日本陸上界伝説のランナーである。選手たちが目標に掲げる選手としてはあまりにも畏れ多いことであるが、本県の選手たちに目標とする選手とは尋ねると平然と「目標は円谷幸吉選手です!」と宣言し、その偉大な領域に一步でも近付こうと必死に頑張る生真面目さや粘り強さが、今回の結果を生み出したと言っても過言ではない。藤田敦史選手、佐藤敦之選手、松井康子（旧姓橋本）選手、その他の名ランナーたちは、福島に生まれた円谷選手を心から尊敬し、厳しい自己管理の下に努力して大成した。その姿勢が現在の若手選手に受け継がれ、加えて慧眼の名伯楽松田和宏氏（学法石川高校監督）や佐藤修一氏（田村高校監督）などが健在な限り、この快進撃はしばらく続くのかではないかという予感がする。そして、陸上関係者が喜びに浸っているところに、今度は遠藤日向選手（住友電工）が5000mで室内日本新記録を樹立したというニュースが入ってきた。他の競技種目でも全日本メンバー入りを果たす選手が出てきた。本県の若者たちの胸に「福島プライド」が灯り始めた今、2020オリンピック・パラリンピックがいよいよ来年日本で、福島で開催される。大会開催までのカウントダウンが始まった今、選手たちには、未だに復興に心血を注いでいる多くの県民に思いを馳せて頑張ることはもちろんのこと、今までの選手たちが円谷幸吉選手を目標として進化を果たしてきたように、今度は自分たちが伝説の選手となって後に続く本県の若者たちの目標になれるよう、大いなる精進を期待したい!それが本県の目指すべきオリンピック・レガシーであってほしいと願っている。



公益財団法人 福島県体育協会
副会長 片平 俊夫

P1 巻頭言

P2 第74回 国民体育大会冬季大会成績

P3 第74回 国民体育大会冬季大会活躍選手と監督の寄稿

P5 平成30年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

P7 平成30年度ふくしまスポーツキッズ発掘事業

P9 ふくしまゴルフプロジェクト・ふくしまラグビー交流事業

P10 公益財団法人日本スポーツ協会公認指導員養成講習会
スポーツ医事・トレーニング相談事業

P11 平成30年度 福島県スポーツ指導者研修会
アンチ・ドーピング教育・啓発事業

P12 ふくしま広域スポーツセンター
フォローアップセミナー

P13 NPO法人はらまちクラブ

P14 賛助会員名簿・編集後記

【表紙写真説明】

第74回国民体育大会冬季大会（スキー競技写真：福島民友新聞掲載）

右上：スケート競技（秋山光希選手）

左上：コンバインド競技（渡部剛弘選手）

左下：アルペン競技（大嶋柚選手）

ふくしまラグビー交流事業

右下：ラグビー出前講座

も

く

じ

第74回 国民体育大会冬季大会成績

(写真:福島民友新聞掲載)

1 参加状況

大会	区分	会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
						役 員	監 督	選 手	合 計
冬季大会	スケート 競技会	H31.1/30(水) ～2/3(日)	北 海 道 市 北 釧 路 市	佐藤 英壽	2	11	4	38	53
	アイスホッケー 競技会								
	スキー 競技会	H31.2/14(木) ～2/17(日)	北 海 道 市 北 札 幌 市	鈴木 安一	1	10	8	44	62

2 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		16点	10点	26点	19位	16点	10点	26点	18位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	11位	—	—	—	—
スキー競技会		11点	10点	21点	13位	7点	10点	17点	10位
合 計		27点	30点	57点	25位	23点	20点	43点	18位

3 入賞状況

◆スケート競技 競技得点 16点 天皇杯 19位 皇后杯 18位

種 別	種 目	順 位	得 点	選手名	所 属
少年女子	スピード 1000m	6	3	遠藤 眞夏	郡山商業高等学校 2年
	スピード 1500m	4	5	秋山 光希	郡山商業高等学校 3年
	スピード 3000m	4	5	秋山 光希	郡山商業高等学校 3年
	スピード 2000mR	6	3	秋山 光希	郡山商業高等学校 3年
				遠藤 眞夏	郡山商業高等学校 2年
				秋山 めぐ	郡山商業高等学校 1年
				清水 凜	安積高等学校 1年
				安田 彩夏	郡山商業高等学校 2年
				黒澤 萌恵	郡山商業高等学校 3年

◆スキー競技 競技得点 11点 天皇杯 13位 皇后杯 10位

種 別	種 目	順 位	得 点	選手名	所 属
成年男子A	コンパインド	5	4	渡部 剛弘	チームリステル
成年女子B	ジャイアントスラローム	5	4	網代 慈子	南会津高等学校 教員
成年女子A	ジャイアントスラローム	6	3	大嶋 柚	慶應義塾大学 2年

アイスホッケー・スケート競技
結団式

アルペン競技結団式

クロスカントリー・ジャンプ・コンパインド競技
結団式

「イランカラプテくしろさっぽろ国体」を終えて

福島県スキー連盟競技本部長 国体アルペン監督 相原 正裕

国体での「競技得点獲得」という目標に向け、あらゆる機会を通じて選手・コーチ陣への国体へのモチベーション向上を図り、この度の冬季国体スキー競技会に臨んで参りました。

スキー競技は、アルペン・クロスカントリー・ジャンプの3種別が国体種目として行われており、各々の種別が異なる環境の中で選手強化に努めております。福島県体育協会が指定する「国体等全国大会で入賞が期待できる」競技団体の1つとして、我々スキー連盟が担う責務は、大変重要なものであることを自覚しながらも、それを励みとして捉え精進して参りました。

アルペンの成年女子Aで大嶋柚（慶應義塾大学2年）が第6位入賞、同成年女子Bで網代慈子（南会津高等学校教員）が第5位入賞、ジャンプコンバインド成年男子Aで、渡部剛弘（チームリステル）が第5位入賞と、競技得点を11点獲得出来たことは、永年に渡る選手強化の賜物であると同関係者一同喜んでおります。また、アルペン競技成年男子Aの土橋銀平（東海大学4年）の第9位、少年男子の菊地朝仁（猪苗代高校3年）の第10位というリザルトも入賞（競技得点獲得）には至らなかったものの、大健闘した内容であったと思います。クロスカントリーでは個人賞を果たす力量不足を感じながらも、リレーでの入賞を目指しましたが、好結果を得ることができずに、今後の課題を残しました。

シーズンが限定されるスキー競技では、オフシーズンを如何に取組むべきか、競技人口が減少する中で次世代の強化をどのようにするべきかと課題も山積しておりますが、今後も更なる成果を得られるよう努力して参りたいと思います。

終わりに、これまで支えて下さった福島県をはじめ関係の皆様方の期待に添えるよう、スキー連盟が一丸となり、「強い福島、頑張る福島」を目指し、来年の国体での更なる飛躍を胸に取り組んで参りたいと思います。



スタッフの支えがあつての入賞

スキー競技 チームリステル 渡部 剛弘

私が国民体育大会に出場したのは、高校1年生時に少年種別で「くしろサッポロ氷雪国体」に参加して以来、成年種別では初めての参加となりました。

この素晴らしい大会に福島県代表として出場できたことは大変嬉しく思います。

また、大会期間中は、チーム一丸となって試合に望む雰囲気、最高に心地よく感じました。スキー競技は個人競技ですが、いろいろなサポートを必要とします。

私が入賞できたのも夜遅くまでワックステストを行ってくれたワックスマンの方々や体のケアをしてくださったトレーナーさん等、いろいろなスタッフの支えがあつてのことでした。更に、試合では本部役員の方々をはじめ福島県体育協会の先生方の応援がとても力になりました。本当にありがとうございました。

成績は、スペシャルジャンプ11位、コンバインド5位という残念な結果で、優勝を狙っていただけに悔しい思いとともに、申し訳ない気持ちで一杯になりました。今後の目標は、オリンピックでのメダル獲得なので、そこに向かって全力で競技に取り組んでいきたいと思っています。



「チームふくしま」で掴んだ5位入賞

スキー競技 南会津高等学校教員 網代 慈子

第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会において、第5位入賞を果たすことができました。大会出場にあたり、福島県体育協会の皆様をはじめ、福島県選手団の皆様、所属する檜枝岐スキークラブの皆様、そして職場の先生方の多大な御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私が出場した成年女子Bのクラスは、現役の選手はもちろん、かつて世界の舞台で戦っていた選手も多数出場しており、レベルの高いレースが展開されています。不安が渦巻く中、集中して練習できる場を整えてくださったり、前日の競技では成年女子A・成年男子Aの選手が入賞・シード獲得をしたりと、チームの後押しのおかげで心身ともに自信をもって全力で滑ることができました。また、コースの条件が最も良い1番目に滑走できたのは、これまで上位入賞してくださった福島県選手団の活躍のおかげです。今回、得点をする事で福島県に少しでも貢献できたことを本当に嬉しく思います。

今後もこの素晴らしい「チームふくしま」で選手として精進し、指導者としても選手に勝利の喜びやスキーの楽しさを伝え、ジュニアの育成の力になれるよう邁進してまいります。



報恩謝徳

スキー競技 慶應義塾大学 大嶋 柚

中学3年次から福島県の代表として国民体育大会に出場させていただいて、本年度6回目の出場となる第74回イランカラプテくしろさっぽろ国体において6位入賞という成績を収めることができました。

昨年度は9位と、入賞に一步届かずとても悔しい思いをしました。そのリベンジをしたいと気合いを入れていたのですが、今年は大学の授業が忙しく、例年に比べスキーを練習する時間が短くて、万全の状態とは言えない中での出場となりました。また日本では北海道にしかないバーンの硬いコースでのレースになり、しっかり対応することができずとも不安がありました。たくさんの方々からの応援の言葉をいただいて、今自分ができる最高の滑りをし、今年こそはお世話になった方々に、恩返しをしたいという強い思いを胸にスタートを切りました。大好きなスキーを続けられ、入賞の喜びを感じることができたのも、福島県体育協会をはじめ福島県スキー連盟、先生方や家族の支えがあったからです。福島県にやっと貢献することができ、とても嬉しく思います。

今後も国体でももちろん、各大会でも今年以上の成績が残せるよう、心と体を鍛え精一杯頑張りますので、応援よろしくお願い致します。



(写真:福島民友新聞掲載)

釧路国体を振り返って

スピードスケート競技 郡山商業高等学校 秋山 光希

私は、第74回国民体育大会において、少年女子1500mと3000m、2000mリレーに出場しました。1500mと3000mでは第4位、2000mリレーでは第6位入賞を果たすことができました。

中学3年生から少年女子として4年間参加させていただき、出場回数を重ねていくたびに、少しずつ戦えてきていると実感していました。今回の釧路国体は、少年女子として最後の大会であり、今までのレースでの経験を生かして福島県に貢献する気持ちで臨みました。目標にしていた表彰台には届きませんでしたが、個人の最高順位を更新することができて良かったです。

今回、このような結果を残せたのも福島県体育協会や福島県スケート連盟、指導してくださった先生方、長尾トレーナーを始めとする多くの方々への支え、応援があったからです。来年からは大学へ進学し、成年枠となり、少年枠よりも厳しい戦いになると思いますが、その中でも互角に戦えるような力を身に付けていきたいと思っています。来年も福島県に貢献できるよう、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、日々努力していきます。たくさんの応援、ありがとうございました。



アイスホッケー



水澤拓海選手(左)

スピードスケート
2000mR



遠藤真夏選手



渡部大輝選手

クロスカントリーリレー女子



土橋銀平選手



菊地朝仁選手

(スキー競技写真:福島民友新聞掲載)

平成30年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

平成30年度公益財団法人福島県体育協会表彰式は、1月8日に福島市のウェディングエルティにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、須佐喜夫会長より代表者に表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された遠藤純選手（サッカー）より謝辞がありました。

表彰式終了後には懇談会が開催され、内堀名誉会長、須佐会長が各テーブルを回り出席された皆様と親しく懇談されました。

今年度の受賞者名簿は下記のとおりです。（敬称省略）

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 久野 秀雄(福島県テニス協会)
- 山崎 一史(福島県弓道連盟)
- 渡邊 富次(福島県弓道連盟)
- 佐藤 常寿(福島県ハング・パラグライディング連盟)
- 遠藤 仁(会津地域連合会)
- 弓田 忠夫(南会津地域連合会)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

陸上競技

- 武石この実(株)東邦銀行
- 紫村 仁美(株)東邦銀行
- 青木沙弥佳(株)東邦銀行
- 新宮 美歩(株)東邦銀行
- 岩崎 崇文(順天堂大学3年)
- 山下 潤(筑波大学3年)
- 田母神一喜(中央大学3年)
- 半澤 黎斗(早稲田大学1年)
- 曲山 純平(福島大学附属中学校1年)
- 箭内 洸斗(船引中学校1年)
- 大石田青空(三春町立御木沢小学校6年)
- 山下 桐子(筑波大学1年)
- 佐藤 皓人(日本大学1年)
- 秋山 優希(日本大学東北高等学校2年)
- 安倍 優紀(清陵情報高等学校2年)

ソフトテニス

- 大槻 麗(住友ゴム工業(株))

サッカー

- 遠藤 純(ふたば未来学園高等学校3年/JFAアカデミー福島)

ハンドボール

- 阿部 奎太(国士舘大学3年)
- 笠原 謙哉(トヨタ車体(株))
- 佐原奈生子(株)北國銀行
- 鈴木姫らら(日本体育大学2年)

卓球

- 岩永 宜久(帝京安積高等学校3年)
- 田崎 朝子(会津クラブ)
- 伊藤 昌夫(T.I.S.S)
- 津田 圭一(会津クラブ)
- 渡部 洋一(会津クラブ)

剣道

- 佐藤みのり(法政大学3年)

ボート

- 門馬 健将(会津高等学校3年)

水泳

- 岩崎 幹大(日本大学東北高等学校2年/郡山スイスイミングスクール)
- 齋藤 理子(二本松北小学校5年/スウィン大数スイミングスクール二本松)
- 寺田 拓末(日本体育大学3年)

自転車

- 渡邊 一成(日本競輪選手会福島支部)
- 新田 祐大(日本競輪選手会福島支部)
- 窪木 一茂(チームブリヂストンサイクリング)
- 石井 洋輝(日本競輪学校)
- 渡邊 歩(EQADS/GSC Blaganac Velo sport31)
- 中村 龍吉(学校法人石川高等学校3年)
- 五十嵐 綾(平工業高等学校3年)

バスケットボール

- 生田目汐織(郡山商業高等学校3年)

バドミントン

- 武井 凜生(富岡第一中学校3年)
- 岩野 晃也(富岡第一中学校2年)
- 齋藤 駿(富岡第一中学校2年)
- 池田真那斗(富岡第一中学校2年)

バドミントン

- 杉山 薫(富岡第一中学校3年)
- 石岡 空来(富岡第一中学校1年)
- 水井ひらり(ふたば未来学園高等学校3年)
- 福本真恵七(ふたば未来学園高等学校3年)
- 内山 智尋(ふたば未来学園高等学校2年)
- 染谷菜々美(ふたば未来学園高等学校2年)
- 廣上 瑠依(ふたば未来学園高等学校1年)
- 柳沼あかね(ワンポイント郡山)
- 本田 理奈(ワンポイント郡山)
- 佐久間文子(双葉クラブ)

ボクシング

- 遠藤 広大(ハツ橋設備(株))

スキー

- 西沢 岳人(早稲田大学1年)
- 中丸 雄哉(南会津高等学校3年)
- 遠藤 尚((株)忍建設)
- 渡部 剛弘((株)ガリウム)

スケート

- 渡邊 晟((株)福島マツダ)

馬術

- 柴田 祐紀(岩瀬農業高等学校3年)

ソフトボール

- 湯田 結那(帝京安積高等学校1年)

ウエイトリフティング

- 今野 金哉(福島県ウエイトリフティング協会)
- 高野 滋(福島県ウエイトリフティング協会)
- 大内 俊幸((有)丸中建設)
- 清野 裕司(福島明成高等学校(教))
- 黒江 雄治(川俣高等学校(職))
- 近内 三孝(自衛隊体育学校)
- 穴戸 大輔(日本大学2年)
- 鈴木 あみ(平成国際大学1年)
- 遠藤 朱李(仙台大学1年)
- 安藤 千鈴(田村高等学校3年)
- 遠藤 梨李(田村高等学校2年)

レスリング

- 皆川 博恵(クリナップ(株))
- 河名真寿斗(クリナップ(株))
- 渡部 友章(ふたば未来学園高等学校(教))
- 今村 太陽(福岡大学2年)
- 横瀬 亜美(いわき市立泉中学校1年)

山岳

- 林 まりな(福島県山岳連盟)

銃剣道

- 菅野 学(陸上自衛隊第44普通科連隊)
- 軽部久美子(陸上自衛隊第6特科連隊)
- 山口あやこ(陸上自衛隊高射学校)
- 中川 誉久(東北福祉大学1年)
- 斑目 穂高(須賀川市立第二中学校3年)

空手道

- 鈴木 晃成(学法福島高等学校3年)

アーチェリー

- 石井 浩平(田村高等学校3年)
- 室井 悠里(白河第二中学校2年)

なぎなた

- 古舘 佳樹(葵高等学校3年)
- 齋藤 侃駿(会津若松市立鶴城小学校5年)
- 高橋 祥世(喜多方市立豊川小学校6年)
- 渡部 奏(会津学鳳中学校3年)
- 佐藤 七海(会津学鳳中学校3年)
- 永井 吉穂(会津学鳳中学校3年)
- 内藤日満瑠(会津学鳳中学校3年)
- 長谷川未歩(会津若松市立第四中学校3年)
- 永田 愛海(会津若松市立第四中学校3年)
- 道明 陽輝(会津若松市立第二中学校2年)
- 渡部日向子(会津若松市立第二中学校3年)
- 久保田のえる(会津若松ザベリオ学園中学校2年)
- 吉田 天音(会津若松ザベリオ学園中学校3年)
- 鈴木 留加(会津若松市立第四中学校3年)
- 黒岩 優那(会津若松市立第四中学校3年)
- 小林 加奈(会津学鳳中学校3年)
- 小林 加歩(会津学鳳中学校3年)

ボウリング

- 大河内未来(郡山女子大学4年)

カヌー

- 青木 瑞樹(安達高等学校1年)
- 武藤 吉紀(安達高等学校3年)
- 小久保海杜(安達高等学校2年)
- 小山田香貴(二本松工業高等学校1年)
- 平石 凜(福島高等学校1年)
- 服部 星空(東和中学校1年)

ダンススポーツ

- 新藤 大也(いわき市立勿来第三小学校3年)
- 新藤 雅巳(いわき市立勿来第三小学校4年)
- 鈴木 大翔(いわき市立汐見が丘小学校6年)

中学校体育連盟

- 武井 凜生(猪苗代中学校3年)
- 岩野 晃也(猪苗代中学校2年)
- 齋藤 駿(猪苗代中学校2年)
- 吉田 翼(猪苗代中学校3年)
- 池田真那斗(猪苗代中学校2年)
- 荻原 聖也(猪苗代中学校3年)
- 小林倫太郎(猪苗代中学校3年)
- 杉山 薫(猪苗代中学校3年)
- 小野 涼奈(猪苗代中学校3年)
- 田部 真唯(猪苗代中学校3年)
- 吉田 晴平(行健中学校3年)
- 藤宮 歩(大槻中学校3年)
- 野矢 育夢(富田中学校3年/郡山スイスイミングスクール)

福島県障がい者スポーツ協会

- 鈴木 猛史(KYB(株))
- 橋本 勝也(田村高等学校1年)
- 越前 由喜(宮城教育大学2年)
- 鈴木 陸斗(福島県立聴覚支援学校 中学部3年)
- 豊島 英((株)WOWOW)
- 佐々木真菜((株)東邦銀行)
- 佐藤 智美((株)東邦銀行)
- 齋藤由希子(SMBC日興証券)
- 吉田 信一(独立行政法人情報通信研究機構)
- 半谷 静香(エイベックスホールディングス(株))

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を取った団体

陸上競技

- 第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR 東邦銀行
- 第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 団体総合 東邦銀行
- 第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行
- 第102回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×400mR 東邦銀行

ソフトテニス

- 第62回全日本実業団ソフトテニス選手権大会 ダンロップ

サッカー

- 第54回全国社会人サッカー選手権大会 いわきFC

卓球

- 第37回全日本クラブ卓球選手権大会 女子 小・中学生の部 富久山卓球クラブ

バドミントン

- 第18回全日本中学生バドミントン選手権大会 都道府県対抗団体戦 福島県
- 第46回全国高等学校選抜バドミントン大会 女子学校対抗 ふたば未来学園高等学校女子バドミントン部
- 平成30年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 女子学校対抗 ふたば未来学園高等学校女子バドミントン部

馬術

- 第73回国民体育大会馬術競技会 少年 団体障害飛越競技 福島県

銃剣道

- 第17回全日本短剣道大会 団体戦女子の部 郡山A

綱引

- 2018全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 ジュニア320kg以下の部 木幡べんてんジュニア
- 2018全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 ジュニア320kg以下の部 ちびたんスピリッツ

中学校体育連盟

- 平成30年度全国中学校体育大会バドミントン競技 男子団体 猪苗代中学校男子バドミントン部
- 平成30年度全国中学校体育大会バドミントン競技 女子団体 猪苗代中学校女子バドミントン部

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 福島陸上競技協会 | ●吉田 真希子 (株)東邦銀行 |
| 福島県ソフトテニス連盟 | ●大槻 三喜 住友ゴム工業(株) |
| 福島県卓球協会 | ●深谷 由美 富久山卓球クラブ |
| 福島県水泳連盟 | ●小岩 雅樹 郡山スウィンスイミングスクール |
| 福島県水泳連盟 | ●鈴木 智也 スウィン大教スイミングスクール二本松 |
| 福島県バドミントン協会 | ●本多 裕樹 ふたば未来学園高等学校 |
| 福島県バドミントン協会 | ●齋藤 亘 富岡第一中学校 |
| 福島県バドミントン協会 | ●中村 善之 富岡第一中学校 |
| 福島県ウエイトリフティング協会 | ●鈴木 宗徹 田村高等学校 |

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 福島県銃剣道連盟 | ●肥塚 克典 陸上自衛隊第6特科連隊 |
| 福島県なぎなた連盟 | ●井関 幸子 福島県なぎなた連盟 |
| 福島県カヌー協会 | ●小久保英一知 安達高等学校 |
| 福島県綱引連盟 | ●齋藤 慶司 木幡べんてんジュニア綱引クラブ |
| 福島県綱引連盟 | ●笠原 則人 ちびたんスピリッツ綱引クラブ |
| 福島県中学校体育連盟 | ●齋藤 亘 猪苗代中学校 |
| 福島県中学校体育連盟 | ●中村 善之 猪苗代中学校 |
| 福島県障がい者スポーツ協会 | ●天下谷真弓 (株)東邦銀行 |

社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 総合型地域スポーツクラブ ひらたスポーツクラブ
- 喜多方卓球ランドスポーツ少年団

特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 遠藤 純 ふたば未来学園高等学校/JFAアカデミー福島
- 皆川 博恵 クリナップ(株)
- 半谷 静香 エイベックスホールディングス(株)
- 鈴木 猛史 KYB(株)
- 猪苗代中学校バドミントン部



謝辞
遠藤 純選手



特別賞
遠藤 純選手



特別賞
皆川 博恵選手(代理 鈴木 絹男氏)



特別賞
半谷 静香選手



特別賞
猪苗代町立猪苗代中学校バドミントン部
(代表 武井 凜生選手)



スポーツ功労賞
佐藤 常寿氏



優秀選手賞(個人)
佐々木真菜選手



優秀選手賞(団体)
先崎 志帆選手



優秀指導者賞
齋藤 亘氏



社会体育優良団体賞
総合型地域スポーツクラブ ひらたスポーツクラブ
(代表 矢吹 健氏)



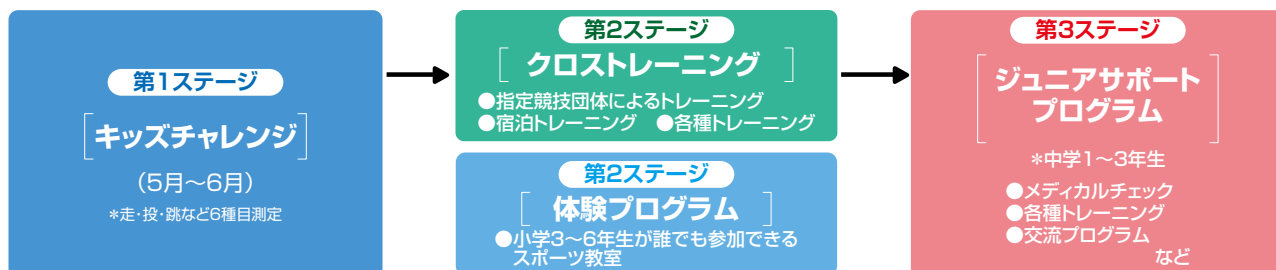
社会体育優良団体賞
喜多方卓球ランドスポーツ少年団
(代表 五十嵐修二氏)

集まれ!!
未来の
アスリート

ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやりたい!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、前年度までに選考された中学生対象のジュニアサポートプログラムも実施しています。

事業の流れ



第1ステージ◆キッズチャレンジ◆

第1ステージキッズチャレンジは、5月～6月にかけて県内の小学3年生～6年生を対象に、福島県内5会場で実施しました。県内のすべての小学校に募集したところ、453名のキッズが各会場で元気に参加してくれました。60名が選考され、第2ステージクロストレーニングに進みました。

●スポーツキッズ発掘テストの内容(6種目実施)

- 25m走
- 全身反応
- 反復横跳
- 四方向ステップ
- 立五段跳
- 膝立ちボール投げ



●テスト会場・実施日・参加人数

開催地区	実施日	会場	時間帯	参加人数	備考
いわき会場	5月26日(土)	いわき市立総合体育館	午後	84名	
会津会場	5月27日(日)	河東総合体育館	午後	47名	
県南会場	6月 9日(土)	須賀川アリーナ	午前 午後	67名 70名	2部制で実施
相双会場	6月23日(土)	南相馬市スポーツセンター	午後	14名	
県北会場	6月24日(日)	福島市南体育館	午前 午後	89名 82名	2部制で実施
1回の定員100名とし、5会場7回の実施			合計	453名	

第2ステージ◆クロストレーニング◆

第2ステージに選考されたキッズは、本協会と競技団体が連携して実施するクロストレーニングに参加しました。9月の開始式から活動が始まり、12月の修了式までの全13回を行いました。各トレーニングは、今まで体験したことのない競技に触れる機会が多く、キッズは目を輝かせて活動していました。それぞれのトレーニングで得た経験を今後の活動に活かしてほしいと願っています。

日程	種目	主管団体	会場
9月 2日(日)	開始式 スポーツマンとして(講話) 体づくり運動 コーディネーショントレーニング	県体協(外部指導者招聘)	安積総合学習センター
9月 9日(日)	スポーツクライミング	福島県山岳連盟	スカイピアあだたらアクティブパーク
9月22日(土)	バドミントン	福島県バドミントン協会	猪苗代総合体育館
9月23日(日)	ボクシング	福島県ボクシング連盟	磐城緑蔭高校
10月 6日(土)	体操・トランポリン	福島県体操協会	いわきラビット体操クラブ
10月 7日(日)	ボート	福島県ボート協会	福島県宮沢野漕艇場
10月14日(日)	テニス	福島県テニス連盟	白沢庭球場
10月21日(日)	相撲	福島県相撲連盟	学法福島高校
10月27日(土)	ウエイトリフティング	福島県ウエイトリフティング協会	のんびり温泉三宅道場
10月28日(日)	バスケットボール	福島県バスケットボール協会	ふるさとの森スポーツパーク
11月 4日(日)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟	磐梯熱海アイスアリーナ
11月11日(日)	トライアスロン	福島県トライアスロン協会	あづま総合運動公園
12月22日(土) ～23日(日)	フェンシング スプリントトレーニング 宿泊トレーニング 修了式	福島県フェンシング協会 県体協(外部指導者招聘)	あづま総合運動公園



第2ステージ◆体験プログラム◆

県内の小学3～6年生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しました。どのプログラムも参加したキッズの生き生きとした表情が印象的でした。多くのキッズに様々な種目を体験してほしいと思います。

日 程	種 目	主管団体	会 場
7月14日(土)	セーリング	福島県セーリング連盟	いわきサンマリーナ
7月15日(日)	体操・トランポリン	福島県体操協会	いわきラビット体操クラブ
8月 4日(土)	カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)	福島県カヌー協会	阿武隈漕艇場
8月11日(土)	カヌー(スプリント)	福島県カヌー協会	阿武隈漕艇場
9月 1日(土)	トライアスロン	福島県トライアスロン協会	あづま総合運動公園
9月24日(月)	水泳(アーティスティックスイミング)	福島県水泳連盟	郡山しんきん開成山プール
10月13日(土)	銃剣道	福島県銃剣道連盟	福島市西部体育館
10月13日(土)	レスリング	福島県レスリング協会	クリナップ井上記念体育館
11月 3日(土)	相撲	福島県相撲連盟	学法福島高校
11月 4日(日)	アーチェリー	福島県アーチェリー協会	福島県青少年会館
11月10日(土)	フェンシング	福島県フェンシング協会	川俣高校
11月17日(土)	ボクシング	福島県ボクシング連盟	磐城緑蔭高校
11月23日(金)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟	磐梯熱海アイスアリーナ
12月15日(土)	スケート	福島県スケート連盟	磐梯熱海アイスアリーナ



アーティスティックスイミング



カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)



スケート



セーリング



体操・トランポリン

第3ステージ◆ジュニアサポートプログラム◆

平成29年度までに選考された中学1～3年生までのジュニア27名を対象に、基礎運動能力の向上を主としたプログラムを実施しました。交流プログラムでは、1日目はVリーグの試合を観戦した後、バレーボール競技のオリンピック越川優選手に講演をしていただきました。越川選手へ積極的に質問し、様々なことを吸収しようと意欲的に取り組んでいました。2日目は東京都体育協会が選考するジュニアとの交流をはじめ、レスリング競技の太田忍選手との交流の場を設けていただきました。同世代の選手やトップアスリートとの交流は、ジュニアにとって目的意識を高める有意義な時間となりました。



コーディネーショントレーニング



メディカルチェック



メンタルトレーニング



体幹トレーニング



交流プログラム

日 程	種 目	主管団体	会 場
6月10日(日)	第1回メディカルチェック①	県体協(ARCクリニック)	ARCクリニック
6月24日(日)	第1回メディカルチェック②		
9月 2日(日)	開始式 リーダー 講習 体幹トレーニング メンタルトレーニング①	県体協(外部指導者招聘)	安積総合学習センター
11月18日(日)	コーディネーショントレーニング	県体協(外部指導者招聘)	ふるさとの森スポーツパーク
11月11日(日)	第2回メディカルチェック①	県体協(ARCクリニック)	ARCクリニック
11月25日(日)	第2回メディカルチェック②		
12月 1日(土) ～2日(日)	交流プログラム	県体協(外部指導者招聘)	東京都内
12月23日(日)	メンタルトレーニング② 修了式	県体協	あづま総合運動公園

ふくしまゴルフプロジェクト

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として地域資源を有効活用し、ゴルフの競技力向上とゴルフ人口の裾野拡大を目指し、LPGA（日本女子プロゴルフ協会）と連携しながら、栗西鈴香氏を講師に「ゴルフに触れる機会の創出」、「ゴルフ指導者の育成」、「競技力の向上」の視点からこの事業を実施しました。

高校ゴルフ出前講座

高校生を対象にジュニア期の競技力向上とゴルフに触れる機会の創出を通して裾野拡大をめざし、授業の一環としてゴルフの体験をしました。



スナッグゴルフ教室

ジュニア期からゴルフに触れる機会を創出し、ゴルフ人口の裾野拡大を図ることを目的として、県南管内の小学校を対象にスナッグゴルフ教室が開催されました。



ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生を対象にジュニア期からゴルフのスキルアップを図りながら、本県から優秀なゴルファーを輩出し、ゴルフ競技の機運醸成につなげていくことを目的に、今年度は、県南管内の小学生7名が栗西コーチから毎週1～3回のレッスンを受けました。



指導者養成講習会

指導者を増やし、ゴルフに対する興味・関心を深めることで、本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図る目的でスナッグゴルフの講習会を行いました。

ふくしまラグビー交流事業

「ラグビーワールドカップ2019」や「2020年東京オリンピック・パラリンピック」という大規模国際大会を控えている今、ラグビー競技を通じて体力・運動能力が低い傾向にある相双地区の子供たちに運動に取り組む機会を創出する目的で、ふくしまラグビー交流事業を実施しました。

タグラグビー地区別講習会

授業等でタグラグビーを指導できる小学校の教職員を増やし、ラグビーに対する興味・関心を深めることで、本県ラグビー競技の普及や底辺の拡大を図る目的で、県内3管内3地区の小学校教育研究会体育部会会場に講師を招へいし、タグラグビーの講習会を行いました。

日 程	管内	地 区 名	実 施 会 場
7月24日(火)	いわき	いわき地区	いわき市立中央台北小学校 校庭
7月25日(水)	県 北	伊達地区	桑折町多目的スタジオ イコーゼ
7月25日(水)	会 津	両沼地区	会津美里町立新鶴小学校 体育館



タグラグビー出前講座

タグラグビーを通して児童・生徒の体力向上の機会を提供するとともに、本県ラグビー競技の普及や競技人口の拡大につなげる目的で、相双地区15の小学校体育の授業に講師を招へいし、児童がタグラグビーを体験しました。

日 程	学 校 名	日 程	学 校 名
6月15日(金)	楡葉町立楡葉南・北小学校	11月21日(水)	新地町立福田小学校
9月10日(月)	新地町立駒ヶ嶺小学校 3年生	11月27日(火)	相馬市立飯豊小学校
9月11日(火)	南相馬市立高平小学校	12月 3日(月)	南相馬市立小高福浦金房鳩原小学校
9月21日(金)	新地町立駒ヶ嶺小学校 5年生	12月 4日(火)	南相馬市立石神第一小学校
10月24日(水)	新地町立駒ヶ嶺小学校 4年生	12月10日(月)	広野町立広野小学校
10月30日(火)	新地町立駒ヶ嶺小学校 6年生	12月11日(火)	南相馬市立八沢小学校
11月14日(水)	南相馬市立上真野小学校	12月18日(火)	川内村立川内小学校
11月16日(金)	南相馬市立大甕小学校	2月13日(水)	南相馬市立原町第三小学校
11月20日(火)	相馬市立八幡小学校	2月20日(水)	南相馬市立原町第一小学校



公益財団法人日本スポーツ協会公認指導員養成講習会

今年度は、指導員養成講習会が水泳・山岳の2競技において、専門科目講習が県内各地で15名の受講者を集めて実施されました。

「指導員」とは、日本スポーツ協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた競技別の技術指導にあたるための資格です。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など、種目に応じた専門科目を40時間以上受講し、その後検定試験を受けました。今後は、地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。



水泳



山岳



公認スポーツ指導者制度の 改定(2019年4月1日)について

日本スポーツ協会は、2019年4月から現行の公認スポーツ指導者制度を改定施行します。競技別指導者資格(教師・上級教師を除く)の名称が下記の通り変わります。その他改定に関わる詳細は日本スポーツ協会ホームページや日本スポーツ協会が発行する「Sport Japan」などで順次掲載される予定です。

現 行	改定後
指導員	→ コーチ1
上級指導員	→ コーチ2
コーチ	→ コーチ3
上級コーチ	→ コーチ4

2019
年度

公益財団法人日本スポーツ協会 公認指導者養成講習会について

日本スポーツ協会では、「公認スポーツ指導者制度」を制定し、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成することに力を入れています。平成31年度に本県で開催を予定しているのは、6競技団体です。

開催競技
団体名(予定)ハンドボール・卓球・水泳・バレーボール
山岳・アイスホッケー

スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的として、依頼により相談員・講師を派遣しています。また、FAXやメールによる相談も受け付けています。

相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、スポーツ栄養士部会員、JADA公認スポーツファーマシスト、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。

今年度は、72回開催し「準備運動・クールダウン」「コーディネーショントレーニング」「体幹トレーニング」「スポーツと栄養」等の講義内容の依頼が多くありました。

活動の様子为例



開催日 9月14日(金)
依頼団体 FULL SPO
場 所 古殿町公民館
テーマ バランスボールを使った健康法
講 師 二瓶 敦志 氏(ARCクリニック)
参加者 26名(中学生以上の学生、一般)



開催日 3月3日(日)
依頼団体 国見町体育協会
場 所 国見町観月台文化センター
テーマ スポーツクリニック講習会
講 師 関根 智美 氏(県認定アスレティックトレーナー)
参加者 31名(国見町体育協会会員)



開催日 3月7日(木)
依頼団体 須賀川市スポーツ少年団本部
場 所 須賀川市役所4階大会議室
テーマ 応急手当講習会
講 師 鈴木 孝行 氏(福島医療専門学校)
参加者 49名(須賀川市スポーツ少年団指導者等)

申し込み方法

相談員・講師を希望する場合は、下記の連絡先まで御連絡ください。(講師に係る経費は本協会が負担します。)
また、過去の相談例、派遣依頼の様式等は本協会HPでもご覧いただけます。

(公財)福島県体育協会

TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971 E-mail info@sports-fukushima.or.jp
URL <https://www.sports-fukushima.or.jp/>

平成30年度 福島県スポーツ指導者研修会

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年3回の研修会を実施しています。今年度は第1回を浜通り地区ブロック、第2回を県南地区ブロック、第3回は全県ブロックで開催しました。

第1回浜通り地区ブロック・第2回県南地区ブロック研修会

【講義】スポーツ指導方法「スポーツ能力向上の為の動きづくり」
～健やかなふくしまの動きづくりその指導理論と指導実践～

第1回
開催日 平成30年12月9日(日)
会場 いわき新舞子ハイツ
講師 会津大学短期大学部講師
渡部 琢也氏(写真左)

第2回
開催日 平成31年1月27日(日)
会場 郡山ユラックス熱海
講師 白河市教育委員会指導主事
小野 覚久氏(写真右)



はじめに、大塚製薬株式会社から、「スポーツと免疫力」について情報提供がありました。
午前の講義では、渡部琢也氏から幼児期の運動指導について、小野覚久氏よりコーディネーショントレーニングの必要性、導入方法や実践のポイントについての話がありました。午後は、それぞれの先生がコーディネーショントレーニングについて実技講習を行いました。
参加者は、今後の指導に生かそうと積極的に体を動かしながら、コーディネーショントレーニングの指導方法を学びました。



第3回全県ブロック研修会

【特別講演】箱根駅伝頂点とその先をめざして

開催日 平成31年2月3日(日) 講師 東洋大学陸上競技部(長距離部門)監督
会場 郡山ユラックス熱海 酒井 俊幸氏

はじめに、大塚製薬株式会社から、「スポーツと免疫力」について情報提供がありました。
その後、酒井俊幸氏には、箱根駅伝の様子を映像で振り返りながら、自らの監督経験をもとにした講話をしていただきました。酒井氏からは、悔しい体験をした時にみんなで考え出したスローガン「その1秒を削り出せ」が、チーム一人一人を大きく成長させたこと、指導者は結果を求めるより信頼関係を築くことや相手に寄り添うが大切であることなど、監督して取り組んできた成果について話がありました。

本講習会には230名の受講者が参加し、指導者としての資質を高めようと真剣に話を聞いていました。



アンチ・ドーピング教育・啓発事業

本協会は、スポーツ医・科学委員会と福島県薬剤師と連携しながら、アンチ・ドーピングに関する啓発活動を実施し、アスリートがフェアプレイ精神のもと競技力を発揮できるように取り組んでいます。

1 リーフレットの作成と配布

アンチ・ドーピング啓発活動の強化を図るため、今年度内容を再度見直し「フェアプレイ精神」を強調した新しいリーフレット(9,000部)を作成しました。東北総体・国体へ出場する選手や関係者、加盟競技団体等へ配布し、アンチ・ドーピング教育・啓発活動に努めました。



2 各競技団体との連携

各競技団体へのアンチ・ドーピング啓発活動として、強化合宿の際に「アンチ・ドーピング講習会」を通年で実施し「うっかりドーピング」の根絶を呼びかけました。また、平成26年度より6年計画で全競技完全実施を目指し、まだ1度も実施していない競技団体に対して、実施をはたらきかけました。また、実施に当たっては県薬剤師会から講師を派遣するとともに、今年度より講習内容の1つにパラドーピングについて取り入れました。

平成30年度に実施した団体はテニス、ハンドボール、ボート、ソフトテニス、セーリング、クレール射撃、サッカーの7団体でした。



平成30年度から新たに追加した取り組み

- 各競技団体からアンチ・ドーピング研修会(競技団体主催)の報告の義務化
- 大会等のプログラム等にアンチ・ドーピング啓発活動内容を掲載
- スポーツファーマシストが在籍する薬局をマップ化し、体育協会HPへ掲載
- 県認定アスレティックトレーナー養成講習会におけるアンチ・ドーピング講座の追加



フォローアップセミナー

テーマ 「中学校運動部活動に対する総合型地域スポーツクラブへの期待」

期 日 平成30年12月6日(木)13時50分から16時30分

会 場 アクティブシニアセンターアオウゼ(福島市)

平成30年度総合型地域スポーツクラブフォローアップセミナーが、県内各地から、総合型スポーツクラブに携わっておられる方、教育関係者、市町村のスポーツ行政担当者など40名の参加で開催されました。

コーディネーターに笹川スポーツ財団の澁谷氏をお迎えし、地域スポーツにそれぞれの立場で関わる以下の5名によるパネルディスカッション形式で行いました。

コ
ー
デ
ィ
ネ
ー
タ
ー



澁谷 茂樹氏(笹川スポーツ財団主席研究員)

【問題提起】

「国の動き(学校運動部活動の改革の流れ)」

パ
ネ
リ
ス
ト



新方 浩二氏(福島県教育庁健康教育課指導主事)

【具体策①】

「福島県の中学校運動部活動に関する施策、実施状況と今後の取組」



青柳 茂宏氏(福島市教育委員会保健体育課指導主事)

【具体策②】

「県の施策を受けての福島市での工夫や努力、実施状況と今後の取組」



佐藤 靖弘氏(福島県総合型スポーツクラブ連絡協議会理事長)

【具体策③】

「福島県内の総合型地域スポーツクラブの現状と課題、今後の取組」



蓮沼 哲哉氏(福島大学人間発達文化学類講師)

【具体策④】

「新たな地域スポーツ体制づくりの提案」～トライアスロンの選手育成システムを例にして～



半澤由美子氏(ふくしま広域スポーツセンタークラブアドバイザー)

【具体策⑤】

「先進的に取り組んでいる総合型クラブの様子を紹介、取組のポイント」

ディスカッションでは、コーディネーターとパネリストの意見だけでなく、フロアーとして参加している受講者の方々にも質問や意見を出していただき、会場全体で議論を深めていきました。外部人材の活用がうまく進んで来なかった背景、学校と地域の指導者のマッチング、部活動は教育活動であり技術指導が最優先でないこと、今回の改革は生徒、教師双方のためであること、スポーツに限らず地域で子供たちをどう育てていくのか、現場の声を国まで届ける必要性など、活発な意見交換の場となりました。



受講者の方々は、福島県の総合型地域スポーツクラブの「中学校運動部活動との連携の可能性」について、さらに「中学校運動部活動に対する総合型地域スポーツクラブへの期待」に応えられる地域スポーツ体制づくりについて、深く幅広く考えることができたようです。

実施後の
アンケートより
(一部抜粋)

- 今後の総合型クラブの存在や運営など考えさせられた。
- 様々な立場の方の話が聞けてよかった。
- どうスタートが切れるかが一番難しいかもしれない。
- とても重要な課題のためもっと多くの関係者にも広めてほしい。
- 関係する方々での話し合いや協議を継続していただきたい。

笑顔・夢・感動あふれる元気なまちづくり



NPO法人はらまちクラブ

アイスまんじゅう早食い
世界大会にあの“志村けん”
もご訪問頂きました!

通常活動

- 総合型地域スポーツクラブ活動事業
- 南相馬市ふるさと元気応援団活動事業
- 震災復興支援事業(心の復興事業・南相馬元気モール事業)
- 地方元気レガシープロジェクト・国県市連携協働事業
- イベント/交流/学校/支援事業・スタッフ派遣事業



NPO法人はらまちクラブは…

誰でも楽しむことができるスポーツや文化活動の場を提供し、そのクラブライフを通してますます希薄になってきている人と人、家庭、学校地域をつなぐ役割を果たし、スポーツ・文化の振興、青少年の健全育成、笑顔・夢・感動あふれる元気なまちづくりを目指している団体です。家庭は第1の居場所。学校・職場は第2の居場所。それ以外のすべての活動の場を第3の居場所と考え、わたしたちは子どもから高齢者までまちのみんなの第3の居場所づくりに取り組んでいます。第3の居場所での笑顔と元気が、第1、第2の居場所に波及し、まちの元気が創出します。

被災以降、震災復興事業も加えて活動しておりますが、8年経過の今でも復旧率は5割に届きません。

一人ひとりの元気創出と友達を誘って元気活動をするなかで、その友達が気になることをささえあいの第一歩とし、市民福祉のまちづくりを実践しています。

心ひとつに力をあわせ、まちの元気屋として南相馬市民及び隣接する地域の人々に対して、スポーツ活動・文化活動の振興を図るとともに、社会参加を促進する事業を行い、復興します!



南相馬市今井正人応援団活動中!



はらまちクラブは
正しいラジオ体操の普及
に努め、学校支援事業も
開催しています。



世界の夢と元気をもらおう!
めぐりあいの会

毎月第二火曜日は
ウォーキングデー&
体力・元気の測定日
イオン・ジャスモ歩いて
富士山頂を目指そう!



相馬野馬追祭もてなしボランティア
13年間継続



第8回全国スポーツクラブ会議を
はらまちクラブが主催しました。



第1回めぐりあいポッチャ大会



南相馬市小学生子どもスポーツ遊夢パーティー
小学生対象の体力テストは上位3位まで表彰



南相馬市唯一のビーチバレーボール大会を
平成14年から22年の第9回大会まで主催しました。
2019年再開予定!!



平成30年11月20・21日Jヴィレッジにて12都県100名超つどい、開催致しました。



(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体 特別会員

会津商工信用組合 (株)会津漆器調製(株) (株)アラジン (株)いちい いわき信用組合 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 エクセルツリー(株) (株)エフエム福島 (株)岡部 (株)オノヤスポーツ 加藤建材工業(株) (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所 クリヤマ(株)仙台営業所 (株)クリーンテック (株)グレイス福島	(医)須賀川セントラル眼科 住友ゴム工業(株)白河工場 (公財)仁泉会 (株)セントラル住設 (福)創世福祉事業団 相双五城信用組合 相馬共同火力発電(株) 相馬秩父生コン(株) (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 東京海上日動あんしん生命(株) 東京海上日動火災保険(株) (株)東邦カード (株)東邦銀行 (株)東邦クレジットサービス	東邦情報システム(株) 東邦信用保証(株) 東邦土地建物(株) 東邦ビル(株) 東邦リース(株) 東北建設(株) (株)トヨタレンタリース福島 中村土木(株) 日本全業工業(株) 日本中央競馬会福島競馬場 (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合	福島商事(株) (株)福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 (株)福島民報社 福島民友新聞社 福島リコビー(株) 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)モリヨシ技研 山木工業(株) (株)ヨークベニマル (株)ラジオ福島 若松測量設計(株) ※他に匿名希望 2法人・団体
---	--	--	--

法人・団体 会員

(株)会津技研 (株)アクセラ (株)アスク (有)吾妻印刷 (株)アポロガス あんしんFPふおあさいと (株)安藤組 入三機材(株) 磐城通運(株) (株)ウエディングエルティ 内池醸造(株) (株)エアコレクト (株)海老名建設 PSGカレッジリーグ (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (有)おりおり (株)加地和組 菅野建設(株) (株)絹川建設工業 キョウワセキュリオン(株) キング印刷(株) (株)キスキ	(株)グラコム (株)クラロン (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ錦建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) (株)佐藤商事 (株)佐藤信博建築設計事務所 (有)佐平 (株)サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング 関場建設(株) (株)セルラー電話サービス福島 (株)善邦 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウェア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株) 東北索道協会福島地区部会	(株)東北装美 東北電力(株)福島電力センター (株)中里工務店 いにどの運送(有) 西会津工業会 (株)日産サティオ福島 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 (有)野地建設 原町港湾運送(株) 東日本テクノレージ(株) (有)挽野自動車 (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマスポーツランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 (株)福南電気 (株)フジゴルフガーデン	富士ゼロックス福島(株) (公財)藤田教育振興会 (株)藤野 (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 (株)丸福織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディア・ネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスタ創建 (株)山口工芸 山田建築(株) 山本商事(株) (株)友愛 (株)Regrit Partners (株)ル・プロジェクト 六陽印刷(株) ワイヂーエル(株) ワタナベカーベット(株) ※他に匿名希望 6法人・団体
--	--	--	---

個人 特別会員

壱 岐 ひろみ 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏 菊 池 信 太 郎

個人 会員

阿 部 正 美 安 藤 喜 勝 五十嵐 義 砂子田 敦 博 石 田 洵 国 伊 藤 隆 司 鶴 沼 秀 雄 遠 藤 均 太 田 豊 秋	尾 形 幸 男 片 平 俊 夫 菅 村 喜 八 郎 国 井 裕 一 小 杉 誠 小 松 信 之 郎 山 太 郎 齋 藤 久 男	坂 本 孝 夫 佐 久 間 光 弘 櫻 井 和 次 佐 藤 傳 一 佐 藤 祝 男 佐 藤 弘 樹 佐 藤 昌 志	穴 戸 正 幸 篠 野 敏 明 柴 野 好 夫 下山 好 宏 鈴 木 浩 一 鈴 木 千 賀 子 鈴 木 義 祐 高 倉 好 博 富 田 孝 志	永 井 祥 一 永 井 隆 太 郎 長 岐 博 中 島 茂 典 新 井 田 大 花 井 宣 明 花 安 紀 夫 平 石 家 治 廣 瀬 敬 彦	深 谷 秀 三 福 本 隆 里 星 香 薫 星 本 文 堀 田 満 堀 川 哲 男 松 井 遵 一 郎 松 本 裕 治	水 戸 眞 由 子 森 崎 俊 紘 結 城 勝 夫 米 沢 修 志 渡 邊 正 仁 渡 辺 正 吉 ※他に匿名希望 3名
---	--	---	--	---	--	--

(平成31年2月1日現在) (敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からの御支援により本県スポーツの推進を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。

皆様におかれましては、趣旨を御理解のうえ、賛助会員として御入会いただき、本県スポーツの推進の一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費 (年会費)

○個人賛助会員

1口 10,000円(1口以上何口でも可)

○法人・団体賛助会員

1口 10,000円(1口以上何口でも可)

※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。

詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。
<https://www.sports-fukushima.or.jp>

編集後記

第68回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会が1月に郡山市で開催され、女子チームバシユートで郡山商業高等学校が第3位に入賞、その勢いが第74回国民体育大会でも結果に表れました。若い選手が確実に力をつけているスピードスケート競技、今後の活躍が楽しみです。

また、国体ではスキー競技も健闘、3名が念願の入賞を果たしました。選手の寄稿文には、たくさんの感謝のことが述べられておりました。選手はもとより、監督、関係者の地道な努力に敬意を表したいと思います。

これからも2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、スポーツ界全体が盛り上がるよう、県民の皆様へ情報を提供して参ります。引き続き本協会事業及び賛助会に対する皆様からの温かい御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

問合せ

公益財団法人 福島県体育協会 電話024(521)7896
〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 FAX024(521)7971
<https://www.sports-fukushima.or.jp> E-mail:info@sports-fukushima.or.jp

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故



保険期間

2019年4月1日午前0時から

2020年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入 対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入 区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) ※特別支 援学校 高等部 の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円)	180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450 円	2,100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同額	3,150 万円	5,000 円	2,000 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人 1億500万円)	
				100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は 対象となりません。	150 万円	1,000 円	500 円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ※右記年齢の判断は、「2019年4月1日」 と「掛金の支払い手続きを行う日」のい ずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償され ます。	C 64歳以下	1,850 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円) ⚠自動車事故に よって賠償責任 を負った場合は、 補償の対象とな りません。	180万円
		B 65歳以上	1,200 円	600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象と なりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円		
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000 円	500 万円	750 万円	1,800 円	1,000 円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部 〒960-8065 福島市杉妻町5-75
福島県庁東分庁舎3号館

TEL 024-526-4600 電話受付時間 午前9時～12時 午後1時～5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(2019年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保